

学校だより

京都市立洛西中学校
平成19年7月18日
(第9号)

夏休みを迎えるにあたって、心がけてほしいこと！

最初に、金子みすゞさんの詩を紹介します。「芝草」という詩です。

名は芝草というけれど、その名をよんだことはない。
それはほんとにつまらない、みじかいくせに、そこら中、
みちの上まではみ出して、力いっぱいりきんでも、
とても抜けない、強い草。
げんげは紅い花が咲く、すみれは葉までやさしいよ。
かんざし草はかんざしに、京びななんかは笛になる。
けれどもももしか原っぱが、そんな草たちばかりなら、
あそびつかれたわたし等は、どこへ腰かけ、どこへ寝よう。
青い、丈夫な、やわらかな、たのしいねどこよ、芝草よ。

名前さえ呼ばれずに、「つまらない」とされていた芝草。そう見はなしているのは、人間の側のつまらなさなのである。いささかも、芝草はつまらない存在ではない。それどころではない。「青い、丈夫な、やわらかな、たのしいねどこよ、芝草よ。」

みすゞは、それぞれの能力の優劣を判定したりしない。それぞれがみんな、そのものだけしか持っていないすてきな素質や個性を発見し、命の営みのすばらしさを伝えているのである。(石川教帳より)

上の解説にあるように、他の人の「そのものだけしか持っていないすてきな素質や個性」を発見することって、素晴らしいことですよね。そしてもっと素晴らしいことは、自分「しか持っていないすてきな素質や個性」を発見し、それに磨きをかけることではないでしょうか。

夏休みという長期の休業中には、家族の方や地域の方とふれ合う機会が多くなると思います。そこで、自分自身や周りの人の「しか持っていないすてきな素質や個性」を発見する絶好の機会と捉えて、日頃できない交流をいっぱい深めてほしいと願っています。

家族の一員として、掃除や料理など家事の手伝いをしよう！

地域の一員として、ボランティア活動やワイワイ広場など地域の行事に積極的に参加しよう！